

2022 年（令和 4 年）12 月 6 日

逗子市教育委員会

なが え さ く ら や ま

長柄桜山古墳群

史跡指定 20 周年記念講演会を開催します

●指定から 20 周年

長柄桜山古墳群は、平成11 年（1999年）3 月に、逗子市と葉山町の境にある丘陵の上で、付近にお住まいだった故東家洋之助とうやようのすけさんが埴輪はにわを発見したことによりその存在がはじめて知られることになりました。平成14年（2002年）12月19日に国の史跡に指定され、今年でちょうど20周年を迎えるのを記念して、12月17日（土）に逗子市役所で講演会を開催します（主催：逗子市教育委員会・葉山町教育委員会）。

●講演会の内容

三浦半島のつけ根の丘陵上から古墳時代前期（4 世紀後半）の 2 基の大型前方後円墳が発見されたことは、『古事記』などに見られるヤマトタケルの「東国遠征」を連想させるものとして、大変な驚きをもって受け止められました。大和政権が東国へ影響力を強めたこの時代の様子について、現在の最新の知見からみた長柄桜山古墳群の歴史的意味を、東海大学教授、長柄桜山古墳群整備検討会委員ほうじょうよしただかの北條芳隆さんに語っていただきます。

●古墳群の価値は

長柄桜山古墳群は、2 基とも全長が90m前後で、神奈川県内の古墳では現存最大級の規模を誇ります。どのような人物が葬られたのか、具体的なことはわかりませんが、古墳群が位置する三浦半島の付け根は、相模湾と東京湾を陸路で約5.3kmの最短距離でつなぎます。そのため、長柄桜山古墳群は二つの湾をつなぐ交通を掌握した有力者の墓であり、この地は当時の太平洋岸における東北・関東と畿内を結ぶ交通の要衝として重要な役割を果たしたと考えられます。

●整備のようす

逗子市と葉山町では、平成23年度に整備基本計画を策定し、平成24年度から第1号墳の整備工事を進めてきました。古墳本来の形を保ちながら強度を高める特殊な工法で土を盛り、墳丘の上には発掘調査の成果に基づいて埴輪列の一部や埋葬施設の位置を表示するなどして、古墳の姿をわかりやすく表現するようにしています。現在の計画では、令和6年度中に工事を終えて一般公開する予定です。

【付属資料】

講演会チラシ

本件に関するお問い合わせ先

教育部 社会教育課 佐藤仁彦・吉田麻子

電話：046-872-8153（直通）

史跡指定20周年 記念講演会

長柄桜山古墳群発見の 意義と今後の展望



12月17日(土)

講師：北條 芳隆さん
東海大学教授

13:30～16:00 市庁舎5階会議室

大和政権が東国への影響力を強めた古墳時代前期の様子を考えるため、現在の知見からみた長柄桜山古墳群の歴史的意味を、考古学の立場から振り返ります。

【申込】12月5日(月)以降、氏名・住所・電話・Eメールアドレスを
市HP申し込みフォーム・電話・ファクスまたは社会教育課窓口へ

- 持ち物：筆記用具、マスク（着用をお願いします）
- 手話通訳・要約筆記希望者は12月8日までに申し込んでください。
- ファクスでの申込み後、3日以内に返信がない場合はお問い合わせください。



申し込みフォーム

【申し込み・問合せ先】逗子市教育委員会 社会教育課
電話：046-873-1111 FAX：046-872-3115
Eメール：syakaikyouiku@city.zushi.lg.jp